

### ■ JR西瀬娃駅を中心に

瀬娃地域は交通の便が悪い場所と「瀬娃郷土誌」に記されている。大正・昭和を通じて鉄道の敷設を目指し活動が続けられた。

昭和38年10月31日にJR枕崎指宿線が開通し、山川指宿間で唯一の有人駅「西瀬娃駅」が宮脇地区に誕生しました。このことは、地区の潜在的・地理的な力を示しており、瀬娃地域の要所として発展してまいりました。

### ■ 宮脇テコンゴ太鼓

昭和61年に結成した宮脇テコンゴ太鼓。以来、子ども会・スポーツ少年団と異なる異年齢集団として地区住民に親しまれてきました。また、地域伝承芸能として市内外のイベントに出演し歴史を刻んでいきます。



【テコンゴ太鼓の由来】  
「テコンゴ」とは十五夜の歌、鐘を鳴らし子ども達を集めまわる時の呼び声のこと。また、太鼓の音が天まで届けたいという想いも込められています。

### ■ 社会教育の先進地

「山脇伸よし子供会」は昭和36年12月に他の地域に先駆けて発足し、その後文部科学大臣賞や全国子ども会連合表彰などを受賞しました。また、この地域では青年団活動など若い世代の地域活動が盛んに行われています。宮脇地区の特徴「地域の絆」は社会教育への取組からも分かれます。

近年では、2018年から南九州市が推進している「コミュニティ・ブランドフォーラム」事業に先駆けて取り組んでいます。



# 宮脇地区 地域の「お宝」マップ

旧瀬娃町の中心地、瀬娃支所や銀行などがあり町の政治・経済・教育の中心地として発展してきました。



宮脇のシンボルマーク

いつしはまき宮脇ホームページ



④ 伊瀬知の阿弥陀如来像



⑤ 山脇の板碑



⑧ 千亀女の墓



⑬ 頌徳碑



⑩ 南春向の「田の神」



⑪ 箭荷神社の水神【絵馬】



① 伊瀬知の滝



① 伊瀬知の磨崖仏



③ 伊瀬知の天神像



⑮ 高取の方石



宮脇地区 十五夜の様子

- ① 伊瀬知の磨崖仏・滝
- ② 伊瀬知の水力発電
- ③ 伊瀬知の天神像
- ④ 伊瀬知の阿弥陀如来像
- ⑤ 赤崎トンネル
- ⑥ 祝迫橋
- ⑦ 日当平新田の「田の神」
- ⑧ 山脇の板碑
- ⑨ 無量寺跡の地藏尊像
- ⑩ 南春向の「田の神」と水神
- ⑪ 箭荷神社の水神【絵馬】
- ⑫ 伝・日野大納言婦人の墓
- ⑬ 下門の虚空蔵菩薩像・地藏尊像
- ⑭ 伝・日野大納言の墓
- ⑮ 高取の方石
- ⑯ 千亀女の墓
- ⑰ 高取遺跡
- ⑱ 頌徳碑